

令和 3 年 12 月 14 日
自動車局技術・環境政策課

アジア地域における安全・環境性能に優れた自動車の普及促進を目指します ～第 12 回アジア地域官民共同フォーラム開催結果～

国土交通省は、12 月 7 日～8 日、自動車基準・認証に係る多国間協定(いわゆる「1958 年協定」(※))のアジア主要国及び ASEAN 各国への理解促進等を目的として「第 12 回アジア地域官民共同フォーラム」を開催しました。

また、これに合わせて政府実務者級会合を行い、自動車分野のカーボンニュートラルに向けた取り組み等についても意見交換を行いました。

1. フォーラム等概要

アジア地域官民共同フォーラムは、第 13 回日ASEAN交通大臣級会合(2015 年 11 月)において承認された「自動車基準・認証制度をはじめとした包括的な交通安全・環境保全施策に関する日 ASEAN 新協カプログラム」の具体的取組の一つ。

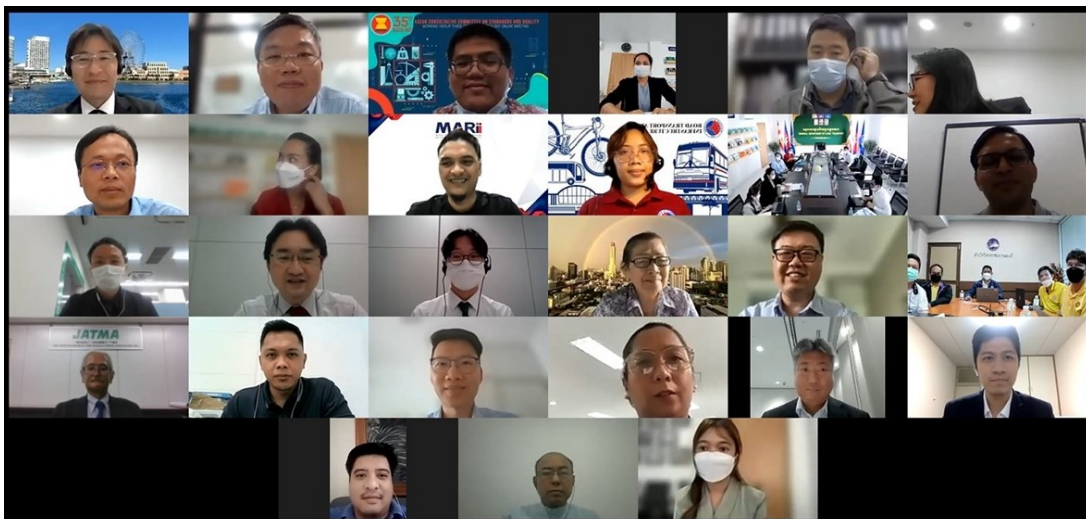
また、これにあわせ政府実務者級会合を行い、自動車の安全・環境施策等について意見交換を実施。

2022 年 1 月にスタート予定の ASEAN での相互承認協定について、国連活動に実績のある日本が最大限サポートするとともに、アジア地域での自動車の安全・環境対策に引き続き各国が協力して取り組むことに合意。

2. 開催概要

- ・ 開催日：令和 3 年 12 月 7 日(水)～8 日(木)
- ・ 実施形式：WEB方式
- ・ 主催：国土交通省・JASIC(自動車基準認証国際化研究センター)
- ・ 参加国・地域：アジア・大洋州諸国 13 カ国等政府・自動車業界

計約 180 名 (詳細別紙1)



3. 主な議事

<官民共同フォーラム>

- (1) 国連自動車基準調和世界フォーラム(UNECE/WP.29)における国際基準の策定・改正の動向報告
 - － JASIC(自動車基準認証国際化研究センター)
- (2) 1958年協定の規則を活用したASEAN地域における自動車部品の相互承認に向けた取組報告
 - － ASEAN事務局、日本自動車部品工業会、日本自動車タイヤ協会
- (3) 各国における自動車の車両安全及び環境保全に関する取組報告
 - － カンボジア、中国、インド、日本(国土交通省)、韓国、ラオス、シンガポール、ベトナム
- (4) 各国における自動車安全・環境施策の策定プロセス紹介
 - － インドネシア、日本(国土交通省、JASIC)、マレーシア、フィリピン、タイ
- (5) 第27回ESV国際会議(2023年)の日本開催の紹介
 - － 日本(国土交通省)

<政府実務者級会合>

- ・ **カーボンニュートラル、自動運転等に係る各国施策についての報告**
 - － 中国、インド、インドネシア、韓国、マレーシア、タイ

※ 1958年協定は、1958年に締結された国連の多国間協定で、自動車の安全・環境等に関する装置・部品毎の基準の統一及び認証の相互承認の実施を目的としています。日本は1998年に加盟し、現在の加盟国は、50カ国、1地域(欧州連合)となっています。

【問い合わせ先】

国土交通省自動車局技術・環境政策課国際業務室 高井、山田、秋葉

連絡先:03-5253-8111(内線 42-253, -257)直通:03-5253-8592、FAX:03-5253-1639

参加機関一覧

(行政機関等)		1958年 協定	1998年 協定
日本	国土交通省、自動車基準認証国際化研究センター(JASIC)	○	○
ASEAN	ASEAN自動車委員会(AAC)		
カンボジア	カンボジア王国公共事業運輸省(MPWT)		
中国	中国自動車技術研究センター(CATARC)		○
台湾	台湾車両安全認証センター(VSCC)		
インド	インド道路交通省、インド自動車調査協会(ARAI)		○
インドネシア	インドネシア運輸省(MOT)		
韓国	韓国交通安全公団、韓国自動車安全研究院(KATRI)	○	○
ラオス	ラオス公共事業運輸省(MPWT)		
マレーシア	マレーシア陸運局(JPJ)、マレーシア交通安全研究所	○	○
フィリピン	フィリピン運輸省(DOTr)、フィリピン貿易産業省(DTI)		
シンガポール	シンガポール陸上交通庁(LTA)		
タイ	タイ運輸省(DLT)	○	
ベトナム	ベトナム陸運局(VR)		

(業界団体)	
日本	日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、日本自動車タイヤ協会、 日本自動車輸入組合、板硝子協会
ASEAN	ASEAN自動車連盟(AAF)
台湾	台湾区車両工業同業公会(TTVMA)
インド	インド自動車工業会(SIAM)
インドネシア	インドネシア自動車工業会(GAIKINDO)、インドネシアタイヤ業者協会
マレーシア	マレーシア・バイクスクーター組立販売協会(MASAAM)
ミャンマー	ミャンマー自動車工業会
タイ	タイ自動車工業会(TAIA)、タイ自動車タイヤ製造業協会(TATMA)

国、地域名は英名アルファベット順

以上

1. 自動車基準調和世界フォーラムの目的

安全で環境性能の高い自動車を容易に普及させる観点から、自動車の安全・環境基準を国際的に調和することや、政府による自動車の認証の国際的な相互承認を推進することを目的としている。

2. 自動車基準調和世界フォーラムの組織

自動車基準調和世界フォーラムは、国連欧州経済委員会(UN/ECE)の下にあり、傘下に六つの専門分科会を有している。分科会で技術的、専門的検討を行い、検討を経た基準案の審議・採決を行っている。

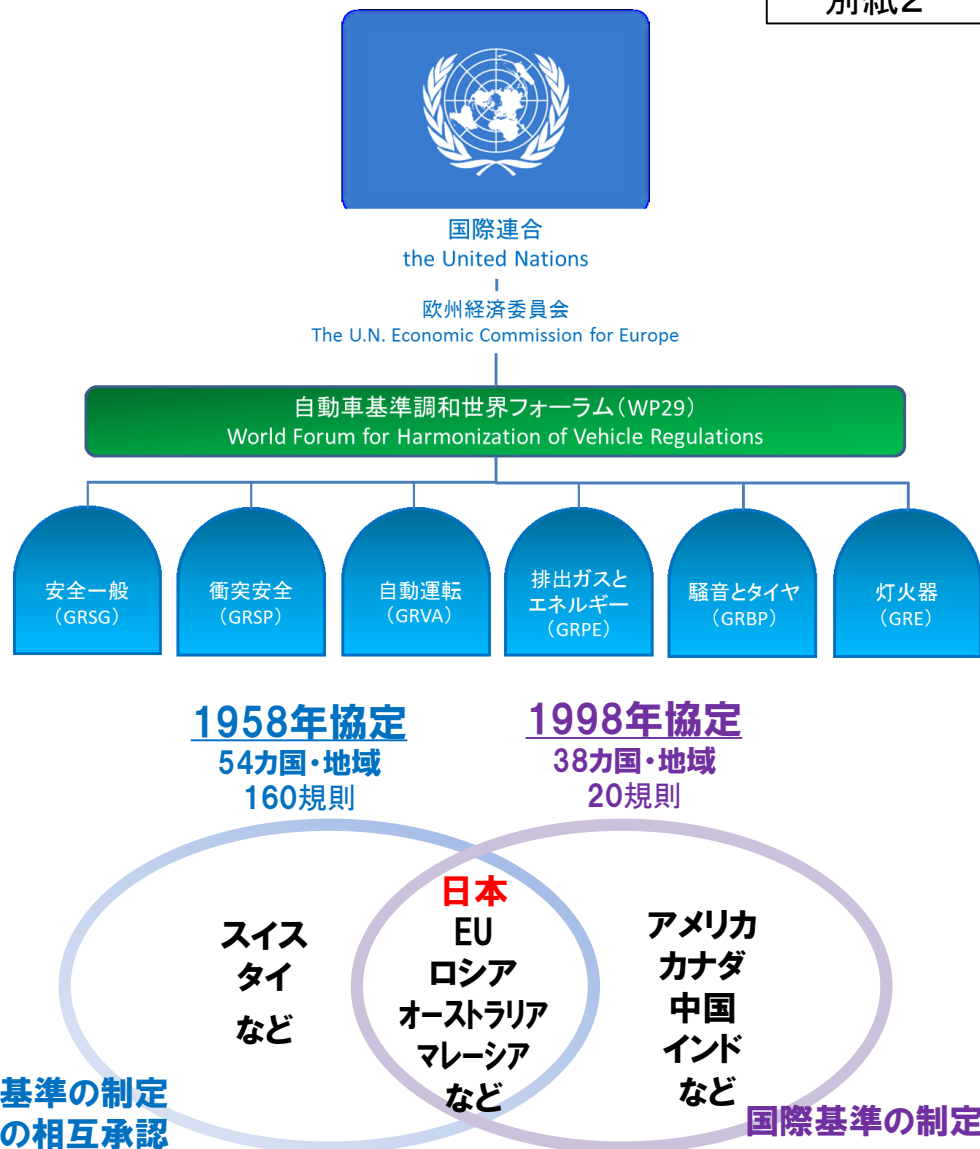
3. 自動車基準調和世界フォーラムのメンバー

欧州各国、1地域(EU)に加え、日本、米国、カナダ、オーストラリア、南アフリカ、中国、インド、韓国等(日本は1977年から継続的に参加)、また、非政府機関(OICA(国際自動車工業会)、IMMA(国際二輪自動車工業会)、ISO(国際標準化機構)、CLEPA(欧州自動車部品工業会)、SAE(自動車技術会)等)も参加している。

4. 自動車基準調和世界フォーラムの主な活動内容

次に掲げるそれぞれの協定に基づく規則の制定・改正作業を行うとともに、それぞれの協定の管理・運営を行う。

- ・「国連の車両等の型式認定相互承認協定(略称)」(1958年協定)
- ・「国連の車両等の世界技術規則協定(略称)」(1998年協定)



ASEAN

- ◇ 経済発展に伴う急速なモータリゼーションの進展
- ◇ 安全・環境問題へのASEAN内外の関心の高まり
- ◇ ASEAN諸国間における自動車基準の国際調和・認証の相互承認に係る枠組（ASEAN MRA）の設立への対応

我が国の成長戦略

- ◇ 国際機関（国連自動車基準調和世界フォーラム（WP29）等）における連携等を通じて、我が国制度・技術の国際標準化、相手国でのデファクト・スタンダード獲得等を推進。
- ◇ 域内の製品流通の円滑化に資する自動車基準の統一と認証の相互承認が重要

（インフラシステム輸出戦略（令和元年度改訂版）（令和元年6月3日経協インフラ戦略会議決定））

ASEAN各国において“安全で環境に優しい自動車”の普及を促進するため、 我が国がASEAN諸国に対して取るべき戦略

- 「安全で環境に優しい自動車」へのASEAN各国の制度・仕組づくり、人づくりの構築支援
- ASEAN各国における自動車基準の国際的調和の実施
- ASEAN各国における認証の相互承認の実施

日ASEAN自動車基準・認証制度に関する協カプログラム（2010年11月第8回日ASEAN交通大臣会合で承認）

→自動車基準・認証制度をはじめとした包括的な交通安全・環境保全施策に関する日ASEAN新協カプログラム（2015年11月第13回日ASEAN交通大臣級会合で承認）において支援範囲を拡大

政策対話

官民共同フォーラム

研修

専門家派遣

法令・組織の整備

国際基準に基づく認証の相互承認の推進

1958年協定加入のための支援

認証制度の整備

交通安全・環境保全施策改善の支援

基準適合性管理（COP）制度の整備支援

基準の国際的調和の推進

1958年協定の試験機関指定に向けた支援

基準制度の整備